

## 第137回医療連携懇話会特集号



## 第137回医療連携懇話会を終えて

整形外科・リハビリテーション科 主任部長／地域医療連携室 副室長 椿 崇仁



「県立中央病院をまるごとご紹介します」をテーマに第137回医療連携懇話会を7月10日(水) 19時からANAクラウンプラザホテル松山にて開催いたしました。ご多忙の中、院外から95名の方にご参加賜り、院内参加者62名と合わせて計157名の賑やかな懇話会となりました。院外参加者の内訳は59名の医師と薬剤師、看護師、ソーシャルワーカーなど36名の医療関係者でした。

愛媛県公営企業局管理者の挨拶に引き続いて、愛媛県立中央病院28診療科の主任部長が前もって作成したスライドを用いて診療科紹介を行いました。診療科も多く、1診療科2分と少し短めの持ち時間でしたが、コンパクトに練りこんで作った内容のスライドで、各診療科の診療内容、特徴、アピールポイントがまとめられており、患者様をご紹介いただく際の参考になるかと考えております。二宮室長の「時間厳守で！」との念押しが功を奏したのか、ほぼ定刻どおりに診療科紹介を終えることができました。

各科の診療科紹介の後、全員が隣の会場に移動して、意見交換会が開かれました。立食形式での意見交換会でお互いの顔を合わせ、アルコールも入り、皆様と積もる話に時間を忘れるような楽しい会合になりました。

これまで多くの患者様をご紹介いただき、皆様のお陰でわが愛媛県立中央病院は多くの患者様の診療にあたることができっております。重ねて御礼申し上げます。これからも引き続き当院をよろしくお願い申し上げます。

今回発表した28診療科のスライドを、ご紹介したいと思います。今後ご紹介の参考になればと考えております。

# 救急科

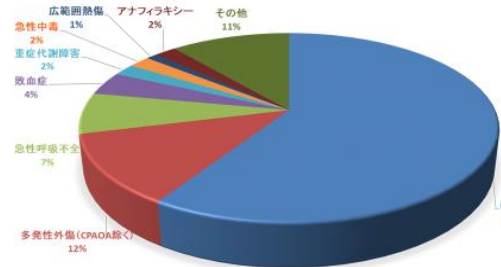
## 救命救急センター 救急科



上段：二宮 孝  
下段：佐藤、中村、渡田、田中、馬越  
前列：青藤、越賀、中城、竹内、橋

- 救急科11名（救急科専門医10名、集中治療専門医4名）  
救急科専門研修プログラム指定施設（専攻医2名、他院で研修中）  
集中治療専門研修施設（4名研修登録中）
- 救命救急センター 初期診療（三次初療室）
- 重症入院患者診療（救命ICU・救命HCU）
- 病院前救急 愛媛県ドクターヘリ基地病院  
ドクターカー、医師同乗救急（松山消防ワークステーション）
- 災害医療（基幹災害拠点病院、原子力災害拠点病院）

## 救急科が主に担当した疾患（2023年）



救急科主対応799例  
救命救急センター総患者数3063例

# 麻酔科

## 診療目標

- 麻酔 安全な麻酔・周術期管理  
→ 術前外来での麻酔前診察や入院サポートセンターと連携した術前リスク管理
- 麻酔～ICU 術後の早期離床  
→ 神経ブロックなどによる多角的鎮痛法を用いた痛みの緩和  
→ ICUからの早期回復プログラム
- ICU 重症例の予後改善  
→ 院内で治療中に重症化した症例の集中治療
- ペインクリニック 難治性の痛みの緩和  
→ 院内紹介患者を対象に、神経ブロック療法も含めた、癌性や良性の難治性の痛みの治療

## スタッフ紹介

### 常勤 14名

藤谷 太郎（副院長）  
中西 和雄（主任）  
奥田 謙之（麻酔科科長）  
矢野 雅起（集中治療）  
入澤 友美（区域麻酔）  
荒田 啓子（ペイン）  
窪野 茂雄（災害医療）  
菊池幸太郎（心臓麻酔）  
佐々木 知恵  
上松 敬吾（小児麻酔）  
高橋 友典（集中治療）  
相原 昌法  
池田 彩夏（専攻医）  
中西 晋紀（専攻医）

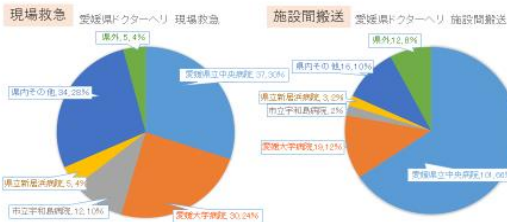
### 非常勤 8名

高石 和  
土手 健太郎  
原田 雅光  
品川 晋代（小児麻酔）  
原田 知美  
清水 尚恵子  
藤田 多恵子  
越賀 貴紀

常勤の専門医資格  
日本専門医機構麻酔科専門医 10名  
日本麻酔科学会指導医 9名  
日本麻酔科学会専門医 1名  
日本心臓血管麻酔科専門医 1名  
集中治療専門医 2名  
区域麻酔指導医 2名  
ペインクリニック専門医 1名



2023年  
愛媛県ドクターヘリ  
要請件数 360件  
出動件数 294件



## 2023年度の麻酔診療実績

麻酔件数：4888例

緊急：978例（約20%）

心臓血管外科：438例  
呼吸器外科：141例  
脳神経外科：181例  
小児（6歳以下）：220例  
産科（帝王切開）：274例



ハイブリッド手術室

# 産婦人科

## 産婦人科の紹介

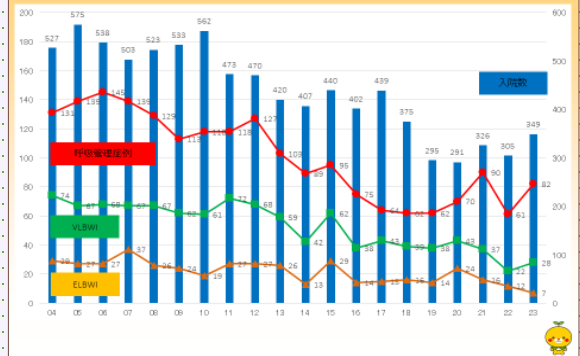
- 県内唯一の総合周産期母子医療センターの産科部門として、24時間、365日、緊急搬送に対応しています。夜間休日の超緊急帝王切開においても、新生児内科・麻酔科などの緊密な連携のもと、15分以内に児を娩出できる体制を整えています。未曾有の少子化の影響で年間分娩数は減少傾向ですが(令和5年814件)、緊急母体搬送数、帝王切開数、多胎妊娠数は横ばいとなっており、ハイリスク妊娠分娩の占める割合は増えています。
- 婦人科良性腫瘍においては、その多くを腹腔鏡下手術やロボット手術、子宮鏡下手術で行っており、手術を受ける患者さんの負担の軽減、入院期間の短縮をはかっています。令和5年は約80%が鏡視下手術で行われました。悪性腫瘍に関しては、外来化学療法を積極的に取り入れ、患者のQOLに留意した治療を行っています。

## 産婦人科スタッフ

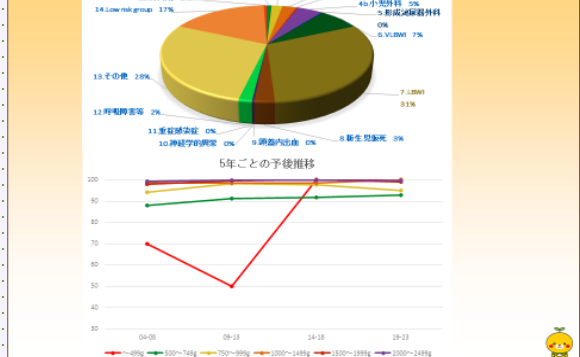


# 新生児内科

## 新生児内科の紹介



## 2023年入院児カテゴリー



- ★：新生児専門医
- ☆：新生児専門医研修中
- ★：小児科専攻医



常勤医：わずか7名で24時間・365日体制でNICU/GCUを運営しております  
 医師も随時募集中です

## 小児科

### 小児内科の紹介

- 松山市（愛媛県）における小児医療の拠点として、初期治療から高度な集中治療まで幅広い医療を提供します。
- 小児科各領域の専門医（循環器、神経、血液・腫瘍、免疫、アレルギー、内分泌・代謝）による専門性の高い最先端の医療を提供します。
- 小児救急医療は、松山赤十字病院・松山市民病院と連携して輪番で二次搬送を受け入れを行い、三次救急の重症患者は24時間365日いつでも受け入れる体制を整えています。

### 小児科スタッフ



## 小児外科

### 新生児の手術症例 (2023年)

| 新生児手術          | 症例数 |
|----------------|-----|
| 先天性横隔膜ヘルニア根治術  | 1   |
| 尿管摘出術          | 1   |
| 胃瘻造設術          | 1   |
| 先天性幽門閉鎖症根治術    | 1   |
| 幽門筋切開術         | 2   |
| 先天性小腸閉鎖症根治術    | 2   |
| 人工肛門造設術        | 1   |
| 直腸肛門奇形根治術(会陰式) | 3   |
| 胆道閉鎖症根治術       | 1   |
| その他            | 1   |
| 計              | 14  |

尿管管瘻の1例



臍部より排尿あり



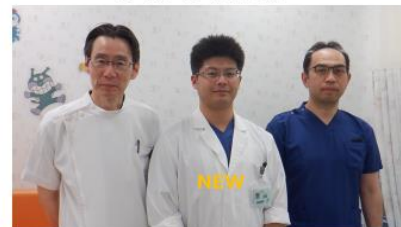
### 鏡視下手術 (2023年)

| 鏡視下手術              | 症例数 |
|--------------------|-----|
| 腹腔鏡下鼠径ヘルニア(陰嚢水腫)手術 | 80  |
| 腹腔鏡下虫垂切除術          | 8   |
| 腹腔鏡補助下ヒルシュスプルング病手術 | 1   |
| 腹腔鏡補助下高位鎖肛根治術      | 1   |
| 腹腔鏡補助下胆道拡張症根治術     | 1   |
| 腹腔鏡補助下重複腸管切除術      | 1   |
| 腹腔鏡補助下イレウス解除術      | 1   |
| 腹腔鏡補助下尿管摘出術        | 1   |
| 腹腔鏡下消化管異物摘出術       | 1   |
| 計                  | 95  |

### その他の手術 (2023年)

| その他の手術           | 症例数 |
|------------------|-----|
| 臍ヘルニア根治術         | 10  |
| 腸管ポリープ切除術        | 1   |
| 人工肛門閉鎖術          | 1   |
| イレウス解除術(開腹)      | 1   |
| 開腹肝生検            | 1   |
| 内視鏡下食道拡張術        | 1   |
| 精巣固定術            | 1   |
| 長期留置型中心静脈カテーテル挿入 | 1   |
| その他              | 1   |
| 計                | 23  |

### スタッフ紹介



野口

古賀

近藤

野口 伸一 (主任部長 昭和63年卒)  
 近藤 剛 (部長 平成12年卒)  
 古賀 翔馬 (医長 平成28年卒)

| 月    | 次   | ※  | ※  | ※  |
|------|-----|----|----|----|
| 外米新地 | 手術日 | 古賀 | 近藤 | 野口 |
| 外米再来 |     | 近藤 | 野口 | 古賀 |

# 脳神経内科

## 診療方針

日本神経学会認定神経内科専門医数（2024年3月）  
愛媛県：40名（四国4県：141名） 広島県：139名

### 四国は脳神経内科の分野では僻地

- 当科の診療方針として、脳、脊髄、末梢神経、筋肉のいずれの分野にも偏ることなく幅広く診療する。
- 特に治療に重点をおいた「**治せる脳神経内科**」を掲げて診療にあたっている。

# 脳神経外科

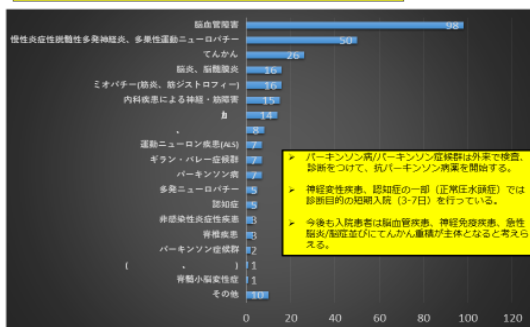
## 顕微鏡手術から外視鏡手術の時代へ（2023年～）

### 外視鏡手術

- 手元のカメラで映した映像を4K 3Dのモニターで見える
- 顕微鏡では不可能であった角度の視野も得られる



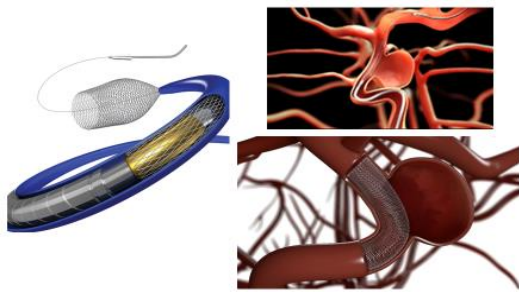
## 入院診療実績(2023年)



▶ パーキンソン病/パーキンソン症候群は外来で検査、診断をつけて、病パーキンソン病薬を開始する。  
▶ 神経変性疾患、認知症の一部（正常圧水頭症）では診断目的の短期入院（3-7日）を行っている。  
▶ 今後入院患者は脳血管疾患、神経免疫疾患、急性脳炎/脳症並びにがん・腫瘍が主体となると考えらる。

## 新しい動脈瘤治療 —フローダイバーター治療— (2022年～)

- フローダイバーターステント（目の細かいステント）で動脈瘤の入り口をふさぐ
- 動脈瘤の中にコイルを入れない
- コイル塞栓術と比べ低い再発率



## 脳神経内科スタッフ

|       | 脳血管障害 | 神経変性疾患 | てんかん | 神経感染症 | 神経免疫疾患 | 内科疾患による神経障害 |
|-------|-------|--------|------|-------|--------|-------------|
| 岡本 憲省 | ○     | ○      | ○    |       | ○      | ○           |
| 京楽 格  | ○     | ○      |      | ○     |        | ○           |
| 渡部 真志 | ○     |        |      | ○     | ○      | ○           |
| 白岡 朗  | ○     |        |      | ○     | ○      | ○           |
| 大坪 治喜 | ○     | ○      | ○    |       |        |             |
| 吉田 暉  | ○     | ○      |      |       |        | ○           |

内科学会専門医：3名 指導医：3名  
神経学会専門医：5名 指導医：3名 脳血管内治療専門医1名  
脳卒中専門医：3名 指導医：2名 老年学会専門医・指導医1名

## 脳神経外科 スタッフ

|  |  |   |  |                                    |
|--|--|---|--|------------------------------------|
| 副院長<br>大上 史朗<br>1984年愛媛大学<br>脳腫瘍         | 脳卒中センター長<br>岩田 真治<br>1990年愛媛大学<br>神経内外科<br>脳腫瘍 | 主任部長<br>藤原 聡<br>1999年愛媛大学<br>脳血管障害<br>（脳腫瘍、脳血管治療） | 部長<br>市川 晴久<br>1991年愛媛大学<br>小児神経外科<br>神経外腫 | 部長<br>成上 悠二<br>1992年愛媛大学<br>ガンマナイフ |
| 部長<br>吉川 浩次<br>1989年愛媛大学<br>脳血管治療・ガンマナイフ | 部長<br>菊田 隆一<br>2014年愛媛大学<br>脳腫瘍                | 医師<br>藤川 あかり<br>2018年愛媛大学                         | 医師<br>村上 健太郎<br>2019年愛媛大学                  | 専攻医<br>多久 悠大<br>2020年愛媛大学          |

# 腎臓内科

## 腎臓内科

診療目標：末期腎不全への進行抑制  
腎臓病患者の生命予後・健康寿命改善

対象疾患：検尿異常  
電解質異常  
腎炎・ネフローゼ症候群・腎血管炎  
高血圧、糖尿病性腎症  
慢性腎臓病  
急性腎障害  
常染色体優性多発性のう胞腎  
末期腎不全(血液・腹膜透析)

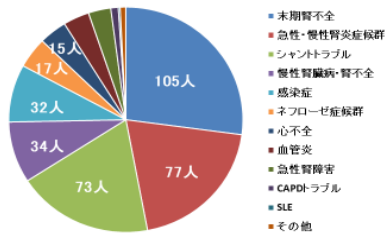
# 泌尿器科

## 手術統計(2023年)

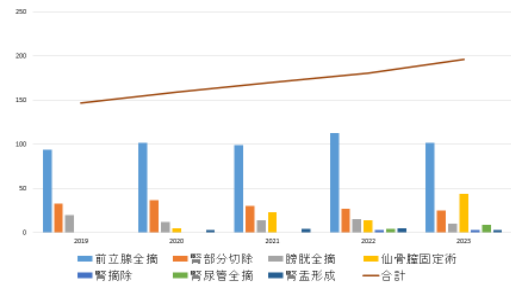
| 順位 | 手術名                  | 症例(例) |
|----|----------------------|-------|
| 1  | 経尿道的膀胱腫瘍切除術 (TUR-BT) | 182   |
| 2  | 根治的前立腺摘除術 (RARP)     | 102   |
| 3  | 内シャント造設術 (AVF)       | 100   |
| 4  | 経尿道的尿管碎石術 (TUL)      | 61    |
| 5  | 前立腺レーザー手術 (HoLEP)    | 58    |
| 6  | 腹腔鏡下仙骨脛固定術 (RASC)    | 44    |
| 7  | 透析用長期留置カテーテル挿入術      | 29    |
| 8  | 腎尿管全摘除術 (RANU、LNU)   | 25    |
| 8  | 腎部分切除術 (RAPN)        | 25    |
| 10 | 腎移植術                 | 22    |
| 11 | ドナー腎摘手術              | 20    |
| 12 | 腎摘除術 (LN、RARN)       | 15    |
| 計  |                      | 919   |

## 腎臓内科

2023年入院患者数 387人



## ロボット支援手術



✓ 仙骨脛固定術が増加

## 腎臓内科メンバー



| 外来担当   | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日   | 金曜日 |
|--------|-----|-----|-----|-------|-----|
| 腎臓内科外来 | 鈴木  | 高橋  | 谷村  | 村上・谷村 | 村上  |
| 腹膜透析外来 |     |     |     |       |     |



## 糖尿病・内分泌内科

### 愛媛県立中央病院 糖尿病・内分内科の役割

- 体系的な糖尿病教育
- 糖尿病患者さんの病態に応じた治療方針の決定
- 食事療法、運動療法の指導
- インスリンや血糖自己測定の手技指導
- 細小血管障害、大血管障害の精査
- 内分泌疾患の診断と治療
- 他科入院中の糖尿病患者の血糖コントロール

#### A. 当院の糖尿病患者教育

- 8日間の教育入院
- 外来患者へ看護師による個別指導

#### B. 入院患者数

##### ■ 罹患入院患者数

| 疾患名           | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 |
|---------------|------|------|------|------|------|
| 糖尿病(2型+その他)   | 339  | 302  | 264  | 173  | 179  |
| 1型糖尿病         | 39   | 24   | 24   | 14   | 18   |
| 原発性アルドステロン症疑い | 24   | 15   | 11   | 8    | 8    |
| 糖尿病性ケトアシドーシス  | 5    | 4    | 4    | 3    | 4    |
| 低血糖           | 0    | 4    | 4    | 4    | 2    |
| パセドウ病         | 6    | 2    | 9    | 15   | 13   |
| クッシング症候群      | 2    | 2    | 1    | 2    | 3    |
| 副腎腫瘍          | 3    | 2    | 0    | 9    | 2    |
| 副腎性肺炎         | 0    | 1    | 0    | 1    | 1    |
| 敗血症           | 3    | 0    | 1    | 0    | 0    |
| その他           | 21   | 16   | 19   | 43   | 30   |
| 合計            | 442  | 372  | 337  | 272  | 260  |

入院患者数は糖尿病・内分泌疾患を合わせて年間260名です。

## 消化器内科

### 消化器内科 (愛媛県立中央病院)

#### 2024年度目標

##### ●医療レベルのさらなる向上

地域の医療に貢献!

医療レベルをさらに向上させ、愛媛県内のみならず、全国的にもトップレベルの診療ができるように診療のレベルアップを目指します。

##### ●医療安全の推進

地域の医療に貢献!

リスクを伴う処置、治療が多いため、各人の医療安全意識の向上に努めるとともに、医療事故の発生確率を低下させるシステムづくりを医療スタッフと共に推進します。

##### ●医学的エビデンスへの貢献

Local but global!

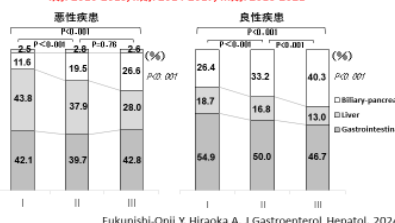
当院の診療経験で得られた知見をガイドライン作成に貢献できるような学術論文として継続して報告していくことで、自らの医療レベルの継続的振り返りを心がけて、日常診療へフィードバックを行います。

#### 入院疾患、検査・処置件数 (2023年)

参考 (CD-10) : 2010年-2021年 (12年 入院総数 23835名)

| Gastrointestinal disease | Liver disease  | Biliary-pancreas disease | Others       |
|--------------------------|----------------|--------------------------|--------------|
| 45.4% (n=10,806)         | 24.0% (n=5726) | 20.7% (n=4908)           | 3.9% (n=935) |

I期: 2010-2013, II期: 2014-2017, III期: 2018-2021



県中 チーム消化器内科を  
よろしくお願いたします。



# 消化器外科

## ●肝胆膵グループ

### 消化器外科(肝胆膵グループ)



スタッフ 7名

大谷広美(センター長) 渡邊常太 花岡潤  
徳田和憲 宇都宮健 石村菜穂 中城裕二

### 手術実績(2023年)肝胆膵グループ

|            | 合計  | 開腹 | 腹腔鏡下      | ロボット |
|------------|-----|----|-----------|------|
| 原発性肝癌      | 62  | 21 | 41 (66%)  |      |
| 転移性肝癌      | 19  | 1  | 18 (95%)  |      |
| 肝門部胆管癌     | 4   | 4  | 0         |      |
| 遠位胆管癌      | 10  | 7  | 1         | 2    |
| 胆嚢癌        | 15  | 6  | 9         |      |
| 膵癌         | 35  | 16 | 8         | 11   |
| 膵腫瘍(膵癌を除く) | 18  | 4  | 3         | 11   |
| 胆嚢結石、胆嚢炎   | 283 | 7  | 276 (98%) |      |
| 脾疾患        | 1   | 0  | 1         |      |

- ▶ 地方都市でありながら、全国レベルの症例数を治療させていただいております
- ▶ 積極的に低侵襲手術を導入しております
- ▶ ロボット手術が増加してきました

## ●下部グループ

### 消化器外科下部グループ



スタッフ 9名

吉山広嗣 古手川洋志 發知将規 松野裕介 大島将義  
渡部美弥 沖川昌平 高田厚史 岩川陽介

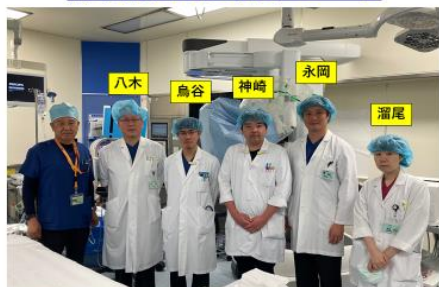
### 手術実績 (2023年) 下部消化管グループ

|      | 手術件数 | 開腹 | 腹腔鏡 | ロボット     |
|------|------|----|-----|----------|
| 結腸癌  | 157  | 14 | 99  | 44       |
| 直腸癌  | 104  | 7  | 20  | 77 (74%) |
| その他  | 6    | 0  | 4   | 2        |
| 大腸穿孔 | 25   | 23 | 2   |          |
| 虫垂炎  | 75   | 4  | 71  |          |

- ▶ 大腸ロボット支援手術は2022年4月の結腸癌への保険適応を受け、結腸癌に対してもロボット支援手術を導入し順調に施行できており、症例数も増加しております。
- ▶ 直腸癌においては、ロボット手術の割合が、70%を超えています。より精緻な手術により、根治性を損なわない範囲で、機能温存に努め、より低位の直腸癌に対しても永久的人工肛門が回避できるように努めています。

## ●上部グループ

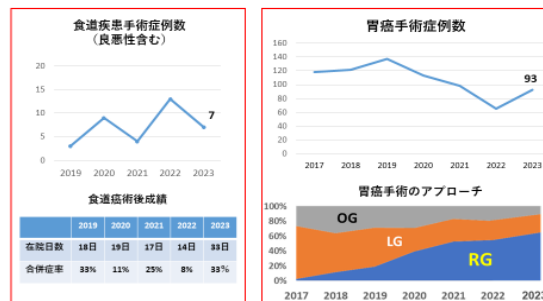
### 消化器外科上部グループ



スタッフ 5名

八木草彦、神崎雅之、永岡智之、溜尾美咲、鳥谷優

### 上部消化管グループ診療実績



2023年は増加  
約9割が低侵襲手術 ロボット手術は65%



## 呼吸器内科

### 呼吸器内科スタッフ



中西徳彦  
病院長  
呼吸器指導医  
アレルギー指導医



井上孝司  
主任部長  
呼吸器指導医  
がん薬物療法指導医  
感染症指導医



勝田知也  
呼吸器専門医  
アレルギー専門医



横ざやか  
呼吸器指導医  
内視鏡指導医



中村純也  
呼吸器専門医  
内視鏡専門医



能津昌平  
内科専門医  
呼吸器専門医



濱田暲  
内科専門医



相原誠人  
内科専攻医

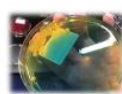


宗石翔  
内科専攻医



切土博仁  
内科専攻医

## 感染症内科



### 感染症内科紹介

愛媛県立中央病院 感染症内科 本間義人

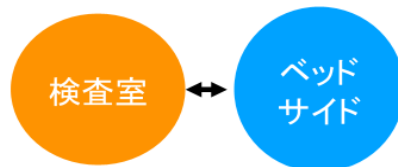
### 呼吸器内科診療データ抜粋

- ・肺癌登録件数(2022年度)318件 (#2)
- ・外来化学療法実施数(2023年度) 1042/年
- ・間質性肺炎抗線維化薬(オフエブ/ピレスバ)使用患者数(2023年度) 99例
- ・喘息バイオ製剤使用患者数(2023年度) 255例
- ・気管支鏡件数(2022年度) 396件

### 感染症内科の仕事

- ・ Microbiology round (血液培養や髄液培養や抗酸菌検査陽性例のチェック)
- ・ 血液培養陽性症例の併診(20~30症例/月)
- ・ 症例コンサルテーション(20~30症例/月)
- ・ レクチャー & 回診(研修医、薬剤師向け)
- ・ 常勤1名+内科専攻医1名(他科から出向)+初期研修医2名+学生実習1名で活動

### Diagnostic stewardship 微生物情報を治療に還元する



抗菌薬の最適化、抗菌薬の狭域化  
内服への変更タイミング  
適切な検査と治療でコスト削減

## 呼吸器外科

# ロボット

手術指導医

# 胸腔鏡

安全技術認定医

# 開胸

呼吸器外科

## 2024年7月から医師増員



呼吸器外科

## 血液内科

### 県内屈指の造血器腫瘍の症例数の 愛媛県立中央病院血液内科

・ 2018年～2022年 院内がん登録件数

|        | 県立中央病院                   |     |     |
|--------|--------------------------|-----|-----|
| 悪性リンパ腫 | 540 <small>No.1</small>  | 490 | 440 |
| 多発性骨髄腫 | 119 <small>No.1</small>  | 94  | 96  |
| 白血病    | 286 <small>No.1</small>  | 173 | 196 |
| その他    | 256 <small>No.1</small>  | 157 | 172 |
| 合計     | 1201 <small>No.1</small> | 914 | 904 |

- ・ 特に「白血病」と「何だか良く分からない」場合に御愛顧いただいております。
- ・ 悪性リンパ腫・多発性骨髄腫の診療にも力を入れていますので、紹介よろしく申し上げます。

### 2020年度からの造血幹細胞移植推進拠点病院の体制について

全国9ブロック 12施設を指定する

厚生労働省認定 四国唯一の  
造血幹細胞移植推進拠点病院  
平成元年～500例以上の同種移植  
愛媛県立中央病院血液内科



# 乳腺・内分泌外科

## 乳腺・内分泌外科



スタッフ一同です。  
このような面々で日々の診療を行っています

乳腺・内分泌外科@医療連携懇話会2024/7/10

# 放射線科

## 放射線科

● 画像診断 Diagnostic Radiology ● 画像下治療 Interventional Radiology (IVR)  
● 放射線治療 Radiotherapy

◆ 中四国有数のスタッフ数: 常勤医師15名、診療委託医師13名

専門資格: 放射線診断専門医、放射線治療専門医、IVR専門医、核医学専門医、FET核医学認定医、検診マンモグラフィ読影認定医 等

◆ 多様なモダリティに対応した正確で質の高い画像診断

×線、CT、MRI、PET-CT、R(核医学)、マンモグラフィ、消化管透視 等

◆ 患者様のQOLを重視した低侵襲で最先端の放射線治療

一般照射、定位放射線治療、IMRT 等

◆ 血管系・非血管系IVR(インターベンション)は緊急時にも対応

腫瘍/血管塞栓・止血、動注、血管拡張・血栓除去、サンプリング、生検、ドレナージ 等

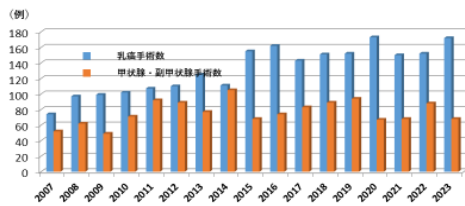
地域医療機関の先生方からの検査や治療のご依頼にも迅速かつ丁寧に対応いたします。

豊富な経験と知識に基づき、様々な高度医療機器や技術を駆使して  
地域医療を診断・治療の両面から支えます。

## 診療実績

(2024年1月～12月)

- マンモグラフィ検査 2647件 (約11件/1診療日)
- 超音波検査 3356件 (約14件/1診療日)



乳腺・内分泌外科@医療連携懇話会2024/7/10

## 2023年度診療実績

CT: 30091件 [+226(前年差)]  
(頭2449、腹部26554、心臓942、全身外傷146)

MRI: 11267件 [+109]  
(頭5082、腹部6294)

消化管透視: 234件 [+13]  
(上部消化管59、小腸24、注腸151)

マンモグラフィ: 2694件 [+130]

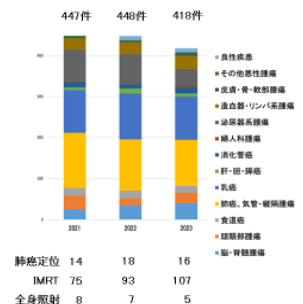
R(核医学): 843件 [-49]  
(脳血流242、心筋246、骨その他346、RI治療9)

PET: 2725件 [-7]  
(FDG 2648、心筋アンモニア 70)

血管系IVR: 368件 [+62]  
(TAE・BTFACE他217、シヤントPTA151)

非血管系IVR: 121件 [+13]  
(CTガイド下生検85、ドレナージ他36)

## 放射線治療



- 毎日、専門医が2診体制で外来をおこなっています
  - 紹介いただきたい具体的な患者さん
    - 乳房の異常を訴えられる方 (しこり、乳首のただれ、血性乳頭分泌)
    - 乳癌検診や健康診断で異常を指摘された方
    - 触診で甲状腺のしこりを疑う方
    - 頸部US (頸動脈USなど) で甲状腺に腫瘍を疑う方
    - パセドウ病で内服治療中、コントロール不良、内服薬で副作用ある方
    - 慢性甲状腺炎で甲状腺腫大が著明になった方
    - 骨粗鬆症、尿管結石を繰り返す、採血したら高Ca血症、PTH高値の方
- 紹介を迷う場合もまずはご紹介ください —

乳腺・内分泌外科@医療連携懇話会2024/7/10

## 放射線科スタッフ



若手からベテランまで、日々誇らしげとも気負う々と仕事に取り組んでいます。

## 循環器内科

### 循環器内科の3本の矢



#### 第一の矢 救急医療

24時間体制で救命措置の必要な患者さんを受け入れます。



#### 第二の矢 ハートチーム

愛媛県中のエキスパートが協働し、質の高いチーム医療を実践します。



#### 第三の矢 高度医療

先進的な高度循環器医療を県民の皆様に提供します。

## 心臓血管外科

### 診療科紹介 心臓血管外科

#### 【診療方針】

成人心臓および血管(大動脈から末梢血管)すべての外科的疾患に対応する

#### 【特徴】

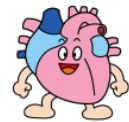
- ・緊急対応は24時間、365日
- ・開胸・開腹での治療のみならず、低侵襲治療にも注力
- ・ハートチームを形成し他職種とともに治療を行う  
<TA-TAVI, MitraClip, PFO closure etc.>

### 臨床で力を入れている7つのこと

1. 虚血性心疾患 (CHIPインターベンション)
2. 心房細動などのカテーテルアブレーション
3. ICD、CRTなどのデバイス植え込み、抜去
4. 弁膜症、SHDインターベンション
5. 脳梗塞再発予防のためのカテーテル治療
6. LEADに対するカテーテル治療
7. 重症心不全・心原性ショック症例の救命

### 心臓血管外科で扱う疾患

- ・虚血性心疾患
- ・心臓弁膜症
- ・その他の心臓疾患(腫瘍、血栓等)
- ・大動脈疾患(胸部、腹部)
- ・末梢血管(動脈、静脈)

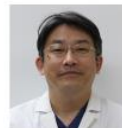


2023年手術総数 370例

### 経皮的左心耳閉鎖術:WATCHMAN FLX



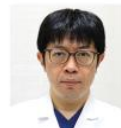
### スタッフ紹介



石戸谷 浩



米沢 数馬



高橋 研



稲荷 真愛

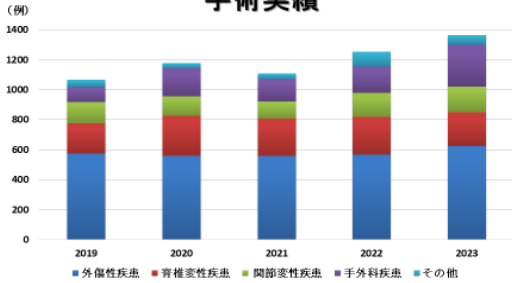


深見 偉二

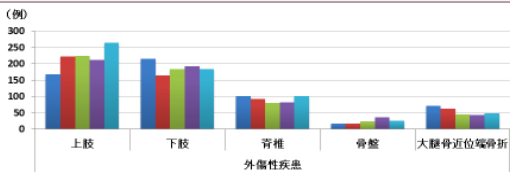
## 整形外科

### 整形外科

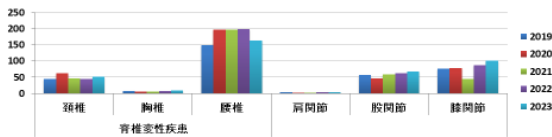
#### 手術実績



昨年度は新型コロナによる診療制限が解除され、手術件数は約1300例を超えており、その半数を外傷性疾患が占めています。



その内訳は上肢、下肢に次いで、脊椎や骨盤などの重度外傷症例が多く、大腿骨近位端骨折は減少傾向です。



脊椎変性疾患では腰椎が、関節変性疾患では膝関節や股関節が多く、前年度より増加しました。



整形外科スタッフ一同、専門性の高い医療を提供できるよう頑張っておりますので今後ともよろしくお願いいたします。

## 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

### 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

地域の基幹病院として、そして松山市内唯一の三次救急病院として、患者さんや近隣の医療機関の信頼を得ることができるような医療を目指しています。年間手術件数は約600件です。頭頸部がん診療では手術治療、化学療法、放射線治療を適宜組み合わせ、治療の充実に努めています。

#### 当科の主要手術

##### 耳科手術

鼓室形成術、鼓膜形成術、顔面神経減荷術、中耳手術など

##### 鼻科手術

内視鏡下鼻副鼻腔手術(ナビゲーション手術を含む)、鼻中隔矯正術、鼻副鼻腔腫瘍摘出術など

##### 口腔、咽頭手術

口蓋扁桃摘出術、アデノイド切除術、唾石摘出術など

##### 喉頭・気管手術

頸部鏡下喉頭癌摘出術、緊急気管切開手術など

##### 頭部疾患(悪性以外)

頭部腫瘍切開排膿手術、耳下腺・甲状腺良性腫瘍手術など

##### 悪性腫瘍手術

鼻咽癌、舌、口腔、頬粘膜、咽頭(上、中、下)、喉頭悪性腫瘍の手術、頸部郭清手術など



# 眼科

## 眼科担当表 (2024/4/1~)

|       | 月曜       | 火曜       | 水曜      | 木曜       | 金曜      |
|-------|----------|----------|---------|----------|---------|
| 外来    | 山口<br>近藤 | 大熊<br>城戸 | 森<br>近藤 | 山口<br>城戸 | 大熊<br>森 |
| 未熟児診察 | ○        | ○        |         | ○        | ○       |
| 手術    | AM/PM    |          | AM/PM   | AM       | AM/PM   |

火曜日・月1回  
県立南宇和病院へ1人派遣

### 【専門外来】

**網膜硝子体**：大熊真一(火/金)、吉岡恵理子(木AM)  
**緑内障**：城戸龍樹(火/木)  
**白内障**：全員対応  
**角結膜・ドライアイ**：山口昌彦(月/木)  
**ロービジョン**：山口昌彦(第2/4木PM予約制)  
**未熟児網膜症**：全員対応

# 歯科

## 歯科スタッフ



### 久野 匡平 (ひくの まさひら)

歯科部長

専門分野 口腔外科・有機体歯科

### 宮本 真志 (みやもと まこと)

歯科部長

専門分野 産婦科口腔機能管理・口腔外科・有機体歯科

### 菅 輔 (かん すけ)

歯科部長

専門分野 産婦科口腔機能管理・口腔外科・有機体歯科

### 近本 孝良 (ちもと たかよし)

歯科部長

専門分野 口腔外科・有機体歯科  
 日本歯科歯槽顎外科学会認定医、専門医  
 日本口腔顎顔面外科学会認定医、専門医  
 日本歯周病学会認定医、専門医  
 日本歯槽顎外科学会認定医  
 日本歯槽顎外科学会認定医  
 日本歯槽顎外科学会認定医  
 日本歯槽顎外科学会認定医  
 日本歯槽顎外科学会認定医  
 日本歯槽顎外科学会認定医

### 【白内障手術】

- ・疾患：白内障
- ・入院日数：2泊3日(片眼)→2週間後に反対眼
- ・麻酔：点滴
- ・所要時間：10~40分(難易度による)

### 【緑内障手術】

- ・疾患：緑内障
- ・入院日数：3泊4日~1-2週間(片眼)
- ・麻酔：テノン囊下または球後麻酔
- ・所要時間：30~90分(難易度による)

### 【網膜硝子体手術】

- ・疾患：糖尿病網膜症、黄斑前膜、黄斑孔、黄斑浮腫、外傷など
- ・入院日数  
 気体を入れない場合：3-4泊4-5日  
 気体を入れた場合：1-3週間(重症度による)
- ・麻酔：球後注射
- ・所要時間：40~180分(重症度による)

|        | 2022 | 2023 |
|--------|------|------|
| 白内障    | 497  | 974  |
| 緑内障    | 35   | 43   |
| 網膜硝子体  | 131  | 251  |
| その他    | 176  | 96   |
| 手術合計   | 839  | 1364 |
| 硝子体注射  | 817  | 796  |
| レーザー手術 | 137  | 167  |
| 光線力学療法 | 5    | 15   |

### 【手術件数】

- ・コロナ禍の影響で2022年までは大幅に減少
- ・2022年:839件→2023年:1364件と大幅に回復

## 診療内容

### 口腔外科疾患全般

- 外傷性疾患(歯槽骨骨折、歯牙外傷)
- 顎関節疾患
- 口腔粘膜病変
- 歯周炎、顎周囲炎一抜歯
- 悪性疾患 口腔腫瘍一切除、摘出術
- 睡眠時無呼吸症候群(口腔内装置)
- 顎欠損補綴・咀嚼嚥下補助装置

有病者に対する一般歯科(齲蝕、歯周病等)

障害者歯科

周術期口腔機能管理(口腔ケア)



## 診療実績

| ■初診・再診患者数 |        |        |        |        |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
|           | 2021   | 2022   | 2023   | 増減率(%) |
| 初診        | 2,709  | 2,871  | 3,223  | 112    |
| 再診        | 10,971 | 10,726 | 11,332 | 105    |

| ■手術及び処置件数        |       |       |       |     |
|------------------|-------|-------|-------|-----|
| 手術及び処置名          | 2021  | 2022  | 2020  |     |
| 通常抜歯             | 782   | 795   | 568   |     |
| 智歯、埋伏歯           | 888   | 905   | 697   |     |
| 消炎手術(口腔内、外、両骨除去) | 29    | 28    | 72    |     |
| 顎骨嚥脱、腫瘍          | 44    | 58    | 52    |     |
| 口腔内腫瘍            | 34    | 39    | 27    |     |
| 顎関節症             | 76    | 63    | 139   |     |
| 顎関節脱臼整復術         | 9     | 8     | 1     |     |
| 顎骨骨折、歯槽骨骨折       | 26    | 40    | 33    |     |
| 睡眠時無呼吸症候群        | 8     | 8     | 7     |     |
| 周術期口腔機能管理        | 1,397 | 1,545 | 2,093 | 135 |

## ● 形成外科・顎顔面外科

### 形成外科

先天性、後天性の形態異常や機能異常を

**形態的、機能的に修復、再建する外科**

- ・ 新鮮外傷、新鮮熱傷
- ・ 顔面骨骨折および顔面軟部組織損傷
- ・ 唇裂・口蓋裂
- ・ 手、足の先天性異常、外傷
- ・ その他の先天性異常
- ・ 母斑、血管腫、良性腫瘍
- ・ 悪性腫瘍およびそれに関連する再建
- ・ 瘻瘻、瘻瘻拘縮、肥厚性瘢痕、ケロイド
- ・ 褥瘡、難治性潰瘍
- ・ 美容外科
- ・ その他

#### 疾患別入院患者数

| 疾患名               | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 |
|-------------------|------|------|------|------|
| 新鮮熱傷              | 8    | 6    | 8    | 9    |
| 顔面骨骨折             | 43   | 27   | 35   | 27   |
| 顔面軟部組織損傷          | 2    | 3    | 3    | 5    |
| 唇裂口蓋裂             | 36   | 24   | 26   | 25   |
| 手足の先天性異常          | 10   | 6    | 4    | 5    |
| 手足の外傷             | 35   | 18   | 16   | 18   |
| その他の先天性異常         | 47   | 12   | 15   | 10   |
| 母斑・血管腫・皮膚<br>良性腫瘍 | 105  | 62   | 65   | 83   |
| 悪性腫瘍およびその<br>再建   | 23   | 17   | 13   | 16   |
| 瘻瘻・瘻瘻拘縮           | 19   | 6    | 12   | 11   |
| 褥瘡・難治性潰瘍          | 21   | 21   | 34   | 7    |
| その他               | 22   | 31   | 15   | 13   |
| 合計                | 371  | 233  | 246  | 229  |

#### 手術数（手術室）

| 区分               | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 |
|------------------|------|------|------|------|
| 外傷               | 125  | 78   | 99   | 93   |
| 先天性異常            | 109  | 86   | 67   | 54   |
| 腫瘍               | 277  | 176  | 180  | 222  |
| 瘻瘻・瘻瘻拘縮・<br>ケロイド | 28   | 20   | 18   | 14   |
| 難治性潰瘍            | 25   | 36   | 59   | 40   |
| 交感・副交感疾患         | 14   | 5    | 10   | 9    |
| 美容               | 0    | 0    | 0    | 0    |
| その他              | 13   | 15   | 10   | 5    |
| レーザー             | 141  | 186  | 126  | 153  |
| 合計               | 732  | 602  | 569  | 590  |

## ● 皮膚科

### 皮膚科

- 皮膚に関連するすべての疾患を扱います
- 診断困難例、重症・難治例、全身症状を伴う症例、手術を要する症例などを中心に紹介をいただいています
- アトピー性皮膚炎、乾癬などの炎症性皮膚疾患に対して生物学的製剤、JAK阻害剤などを多く導入しています
- 下腿潰瘍、糖尿病性足潰瘍、壊疽などの創傷に対して多数の治療経験があります
- 広範囲・重症熱傷（3次救急）  
救急科・形成外科と合同でチームを作り治療に当たっています

### 皮膚科

#### ■ 外来診療

- ・ 乾癬生物学的製剤使用承認施設に認定されています
- ・ 生物学的製剤：アトピー性皮膚炎55例、痒疹22例、慢性尋麻疹18例、乾癬49例
- ・ JAK阻害剤：アトピー性皮膚炎5例、円形脱毛症11例、乾癬6例
- ・ 紫外線治療 施行件数1025回/年

#### ■ 手術

- ・ 悪性腫瘍 23例
- ・ 良性腫瘍 49例

#### ■ 入院診療（2023年度）

- 細菌感染症（蜂巣炎、膿瘍など）12例
- 薬疹・中毒疹 11例
- 円形脱毛症（ステロイドパルス）9例、手術・悪性腫瘍 9例
- 水疱症 7例、広範囲熱傷6例、難治性潰瘍 2例
- その他 17例

（症例数：2023年度実績）



### 皮膚科スタッフ



## 総合診療科

こんな患者さんを対象としています

- 基本的にはいかなる健康問題にも対応します！
- 未診断の患者さん (腹痛、胸痛、不明熱など)
- 複合問題を抱えた患者さん (複数疾患、多臓器疾患、老年症候群など)
- こころの問題を抱え、身体症状を有する患者さん
- 予防医学的アプローチを必要とする患者さん

### 2023年度診療実績

| 入院患者        | 108人 |
|-------------|------|
| 呼吸器疾患       | 25   |
| 神経疾患        | 4    |
| 消化器疾患       | 16   |
| 腎・泌尿器疾患     | 8    |
| アレルギー・膠原病   | 7    |
| 感染症         | 26   |
| 循環器疾患       | 5    |
| 糖尿病内分泌代謝疾患  | 2    |
| 血液疾患        | 5    |
| 整形外科・皮膚科    | 5    |
| 耳鼻咽喉科、精神科疾患 |      |
| その他         | 7    |

#### 地域医療連携

647人の患者さんをご紹介いただきました。

どうもありがとうございます  
ございました





## 第33回 愛媛県立中央病院 がん治療センター市民公開講座

- 日時** 令和 6 年 10 月 6 日 (日) 14:00~15:30
- 主催** 愛媛県立中央病院 がん治療センター
- 場所** 愛媛県立中央病院 講堂
- テーマ** 【～がん薬物療法について～】
- 司会** 呼吸器内科 医師 中村 純也
- 演題**
- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| ①『ここまで進歩したがん薬物療法』  | がん治療センター長 名和 由一郎 |
| ②『がん薬物療法における薬剤師業務』 | 薬剤師 十亀 将輝        |
| ③『がん薬物療養中の生活について』  | 看護師 池内 靖恵        |

## 第140回 医療連携懇話会

令和 6 年 11 月 13 日 (水) ・講演 19:00~20:00 予定  
【神経難病について (仮)】 **COMING SOON!**



地域医療連携 ネットワークサービス



あさくらネット

お申込・詳細はコチラから [Click!](#)

<リンク先> 愛媛県立中央病院ホームページ

<2024年現在閲覧できる項目>

- ・処方・注射・検体検査・病名・**※退院時サマリ**・画像(放射線、エコー、生理検査)
- ・循環器動画・放射線画像診断レポート (退院時サマリは2023年4月1日以降の情報となります)

参加  
無料

\*次号のお知らせ\* 9月号(No.47)は、2024年9月中旬頃刊行の予定です。お楽しみに!

メール登録のご案内

各種ご案内やお知らせをメールで受け取れます。動画視聴のみを希望される医療機関関係者のご登録も受け付けております!

- ◆**方法①** ・下記の地域医療連携室のメールアドレスへ、以下を記載し送信してください。
- <件名> メール登録(医療機関名) <本文> 医療機関住所、電話番号  
<動画視聴のみのご希望の場合> 「**限定公開動画のみ**」と記載をお願いします

地域医療連携室メールアドレス: [c-renkei@eph.pref.ehime.jp](mailto:c-renkei@eph.pref.ehime.jp)

- ◆**方法②** ・本用紙でのお申し込み



・愛媛県立中央病院 地域医療連携室に下記の登録をいたします。

<医療機関名> \_\_\_\_\_

<医療機関住所> \_\_\_\_\_

<電話番号> \_\_\_\_\_

<動画視聴のみのご希望の場合>  限定公開動画のみ希望 (チェックをお願いします)

<メールアドレス> \_\_\_\_\_ @ \_\_\_\_\_

ご記入いただきました個人情報は、必要なセキュリティ対策を講じ、厳重に管理し、メール送信の目的にのみ利用させていただきます。